

■令和4年度 市長をかこむ会

舌田地区 R4.7.30(土)

19:00~20:03

場所: 舌田地区公民館

出席者	住民	18人	市 大城市長・宇都宮農林課長 政策推進課 菊地補佐・成田補佐
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
農林課	みかんアルバイト確保に対する補助について	みかんの収穫時期に県外アルバイトを雇い入れる予定であるが、マンダリンだけでは宿泊先が足りない状況である。昨年度はホテルなどの宿泊費の4分の3の補助があったが、今年度は補助が2,000円だと聞いた。今年度も昨年度並みの補助があると助かるかどうか。	昨年度はコロナ対策ということで宿泊費の4分の3の補助をした。ただし、コロナの影響は農家だけでなく、他の業種も影響を受けている。市全体のバランスを考慮して、今年度の補助の内容を検討している。 市としては、県外アルバイトに対するPCR検査や抗原検査の経費の補助はする。また、今年度は空き家改修経費の補助の増額を予定している。コロナ後を見据えて、補助内容を充実させている部分もあるのでご理解いただきたい。
保健センター	市長の新型コロナウイルスに関するマイク放送について	八幡浜市は県内の自治体の中でもコロナの感染者数が少ない。市長のマイク放送による注意喚起を続けて実施してほしい。	回答なし。 【補足】 市長によるコロナ注意喚起のマイク放送は、国の緊急事態宣言発令時や県の警戒レベル引き上げ時などの重要な場面や感染拡大期の特に注意が必要な時に実施しており、市長自らが市民へ呼びかけを行うことで、より市民に響き、注意喚起の効果があると考えている。今後も重要な場面においては継続して実施したい。
政策推進課	「わくわくする八幡浜」を実現するためのプロジェクトについて	「わくわくする八幡浜」を実現するために、プロジェクトを着実に進めてほしい。	スパンの長いプロジェクトもあるが、皆さんの期待に応えられるように着実に実施していきたい。
保健センター・商工観光課	コロナの感染対策について	コロナの感染者数が全国的に拡大している。国は、コロナが終息するまでは国民に行動制限等を要請すべきである。花火大会は気を付けて慎重に実施してほしい。	回答なし。 【補足】 現在感染が拡大しているオミクロン株BA.5においては、感染力は強いものの、重症化率は低いことから、国においても以前のデルタ株拡大時のような、緊急事態宣言や強い行動制限は行わず、感染対策と社会経済活動との両立を図ることとされている。大きなイベント開催時には、県と市が連携して感染防止対策の協議・確認・徹底を行ったうえで開催、又は縮小・中止の判断を行うことになっている。花火大会については、露天商の出店を見合わせるほか、県のチェック・指導に基づくコロナ感染予防策を講じたうえで実施する予定である。
生涯学習課	地区公民館等の修繕について	地区公民館は築20年以上経過しているが、外壁塗装を1回も実施していない。外壁塗装など3点の予算要求を予定している。また、舌間自治公民館についても、エアコン修繕など2点の予算要求を予定しているのでもよろしくお願いいたします。	優先順位を決めて、精査をしたうえで必要に応じて対応する。 【補足】 現在、令和5年度当初予算の地区公民館からの要望の取りまとめをしている。優先順位を決め、現地調査を行い必要に応じて対応する。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
水産 港湾課	養殖漁業者の エサ代補助に ついて	魚の養殖をしているが、8月からエサ代が値上がりする。魚価が上がってもエサ代の値上がり分をカバーできるのか不安である。市で補助等を検討してほしい。	県が対策を検討中であると聞いている。先日、養豚や養鶏業者がエサ代の価格高騰に対する補助の要望があり、市も対応を予定している。養殖漁業者も市に生の声を届けていただければ、今後、県と歩調を合わせながら対応を検討していきたい。 【補足】 養殖業については、エサ代や燃料費の高騰に対して、基金から補填金が交付される制度が構築されており、現状においては、ある程度カバーできていると理解しているが、引き続き、状況を注視しながら、必要があれば追加の支援策について検討していきたい。
政策 推進課	人口減少対策 について	市の人口流出が確実に進んでいる。若者を誘致する、移住を推進する、若者の流出を阻止するといった施策が重要である。市長はどういった内容の施策を考えているのか。	Iターン、Uターン推進の施策などを実施しているが、なかなか難しい問題である。昔は3世代が一緒に暮らし、親が子どもの世話をできないときは祖父母に預けていたが、現在は核家族化が進んでいる。まずは、我々親世代が意識を変えて、子どもを市内で就職させて一緒に暮らしていけるような支援策を検討したい。大家族の方が生活しやすいと思っているので、今後研究をして、人口を増やしていきたい。
政策 推進課	結婚の推進に ついて	農家の後継者で結婚していない人が多い。市で何か対策を検討してほしい。	市でも縁結びコーディネーターなど、様々な対策を実施してきたが、なかなか難しい問題である。最近では農家の収入も良いと思うので、もっと自らPRしてほしい。 【補足】 市では出会いの場づくりとして「出会いイベント」「愛結び」事業を行っているが、まだまだ利用者が少ない現状があるので、利用を呼び掛けてほしい。また、出会いの場づくりは行政だけでは不十分なので、地域でも出会いの場を作っていただきたい。